2026年度

キャリアアップMOT（CUMOT）
経営経験者との対話で学ぶ技術経営セミナー
～CUMOT × STAMP 連携プログラム～
受講生募集のご案内
対面とオンライン講義形式の併用で全国より受講可能
環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 実施

Institute of SCIENCE TOKYO

説明会の動画をwebサイトで公開しています。視聴方法は裏面「説明会開催」の案内にて。

STAMP 技術経営士の会 Society of Technology and Management Professionals

プログラムの目的
本プログラムは、技術経営を実践する次世代の企業経営を担う人材を対象に、技術経営士の会（STAMP）のメンバーが持つ「企業経営」「新規事業開発」「研究開発/技術開発」などの豊富な実務経験をもとに、「実践例と討議課題の提示」「グループ討議/発表と解説」を通じた事例研究に取り組みます。

プログラムの学習目標
戦略的技術経営の実践における課題認識と解決に必要な考え方の修得

プログラムの特徴
①経営や事業のマネジメントに関する豊富な経験を持つメンバーが所属する「技術経営士の会」との連携
②技術経営士のメンバーによる「生きたケース（事例）」を通じた学習
③経営に関する「討議課題の提示」により受講者自身が主体的に考え、講師を含めてクラス全体で議論
④対面講義およびZoomによるオンライン講義での人数限定で「対話で学べる」学習環境

プログラム担当教員メッセージ

本プログラムは、技術経営士の会の皆様の協力により、企業経営、グローバル事業、研究開発といった多様なマネジメント経験を持つ有力な実務家を講師に迎え、講師が実際に取り組んだ事例に基づく学習機会を提供します。当事者による「生きた」事例を通じた研究は、説得力と迫力が違います。表層的ではない深いディスカッションと貴重な学びが得られるでしょう。

環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授　辻本将晴

STAMP会長メッセージ

技術経営士は、技術の専門知識を持ちながら、組織のマネジメントを経験した、上場会社の役員や官僚、大学の方々です。企業経営と言うのは知識だけではできません。知識以外に人格・見識を含めた人間力が必要です。実際に組織運営を実践した人の生の話が大事です。我々は東京科学大学の場をお借りして、我々の経験に基づく知見を皆さんと共有できることを嬉しく思っています。

技術経営士の会　会長　山下徹

技術経営士の会とは

技術経営士は、“高齢技術者の技術経営に関する知見を社会に活かす”ために、一般社団法人技術同友会が創設した資格です。そして、技術経営士の会は、技術経営士個人での活動には限界があるので、有志が集まり組織を創り、より積極的に技術経営士の活動を支援するために結成された組織です（任意団体）。

技術経営士の会　webサイト　https://stamp-net.org/

募集要項

受講期間
2026年11月5日～2027年2月13日（ガイダンス、修了式含む）
全10回　木曜開催（一部土曜開催）19時～21時20分（1回2時間、休憩20分）
※講義およびクラス全体でのグループ学習（ディスカッション）をします。
※11/5は受講ガイダンスをZoom（オンライン形式）のみ行います。
※2/13は土曜（14～17時、休憩兼討議時間含む）に開催します。
※学習テーマによっては一部、変更になる場合があります。

受講対象者
次世代の企業経営や組織マネジメントを担う社会人の方
具体的には、下記のような方を歓迎します
・企業経営の経験者から直接、話を聞いたり、議論をしたい
・組織のメンバーとして経営者の考え方や意思決定の方法、リーダーシップなどについて学びたい
・同じ志や意欲を持つ仲間との交流やディスカッションを楽しみたい
・一方的に話を聞いたり教わるのではなく、双方向で主体性を持って学びたい
・CUMOTで他のコースの受講経験があり、新たに学ぶ機会を得たい
・MOT、MBA、社内研修等、経営学の分野での学習経験があり、新たに学ぶ機会を得たい
・事業運営、新規事業、海外事業展開、研究開発など、企業経営やマネジメントに関する知見やヒントを得たい

受講場所
対面形式（東京科学大学田町キャンパス（東京都港区芝浦3-3-6 CIC）310教室）での受講を推奨しています。遠隔受講者のためにオンライン（Zoom）での受講も選択可能です。
※オンライン講義の受講に必要な通信環境は受講者にてご用意ください

募集人数
20名　※最小開催人数12名

申込期間　※受講枠があるため受付期間を延長しました（2026.10.7）
2026年8月24日（月）～10月21日（水）（締切日必着）
※定員に達した場合、募集を終了します。
※企業派遣など上記期間での対応が難しい場合はご相談ください。

受講料
121,000円（消費税込）　※お支払い方法については受講内定後に振込みにて手続きをしていただく予定です。お振込み後の受講料の返還はいたしませんのでご了承ください。

申込方法
願書に必要事項をご記入のうえ、下記の住所までお送りください（締切日必着）。
※PDFファイル等、電子ファイルでのご提出も受け付けます（cumot-info@isc.ens.isct.ac.jp）。
メールの送受信をもって押印・署名扱いとさせていただきます。
〒108-0023　東京都港区芝浦3-3-6　CIC910
CUMOT事務局　STAMP連携プログラム受講申込担当

受講審査・受講通知
願書をお送りいただいた後、志望理由書等にもとづく書類審査をいたします（申込順審査、願書受領後1週間以内）。受講審査の結果についてはメールにてご連絡いたします（受講許可を通知）。

お問い合わせ
東京科学大学（Science Tokyo）　CUMOT事務局
問い合わせ先E-mail ： cumot-info@isc.ens.isct.ac.jp
※受講についてお問合せがある場合は、メール等にて個別相談にも応じます。

受講実績

【受講アンケート】 2025年度実績　5段階評価
授業の総合的な満足度はどのくらいですか　平均4.5　　授業で学んだことが今後自分の業務に役立つと考えますか　平均4.5

【受講者の声】
◆非常に有意義な講義でした。プロジェクトリーダーについて理解を深められました。
◆技術経営士の講師の皆様の経験と理念がそれぞれの表現で言語されており、説得力がある血が通った講習で大変参考になりました。
◆講師の方の経験に基づく講義内容で大変ためになりました。今後の活動のヒントやアイデアを頂きました。
◆プロジェクトリーダーの心構えを学べました。
◆技術者視点だけでなく経営視点で組織運営を行う際の考え方や周りとの接し方などを学べました。
◆経営者やイノベーションに必要な資質や志（マインド・スタンス）とは何かについて学べました。
◆Zoomによる講義は参加ロケーションを問わず柔軟に対応することができ、大変参加しやすかったです。

CUMOT × STAMP 連携プログラム

スケジュールと講師

回数	日程	学習テーマ	担当	経歴等
–	11/5	受講ガイダンス	古俣 升雄	東京科学大学環境・社会理工学院特任教授
–	11/12	講師紹介/ネットワーキング　～講師紹介/交流会～	講師一同	
1	11/19	壁を壊し意識を変えるチームビルディング ～はやぶさ2：開発期5つの苦難を打開した変革～	山浦 雄一	元 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)　理事
2	11/26	経営における問題解決・事業展開のポイント ～新興国を中心とした海外事業の事例研究～	岡部 聡	元 トヨタ自動車株式会社専務取締役
3	12/3	経営ビジョンの策定方法と組織マネジメントの定義と実践 ～経営4象限と組織ベクトルをマネジメントするリーダーの役割～	坪井 正志	元 沖電気工業株式会社 取締役 専務執行役員 デジタル責任者(CDO)
4	12/10	サービス開発における「行動経済学的視点」の重要性 ～デジタル時代の顧客接点～	阿佐美 弘恭	元 株式会社NTTドコモ　代表取締役副社長
5	12/17	企業における研究開発の役割と新製品開発の施策 ～企業の未来を創り出す研究開発の具体的事例～	三木 一克	元 株式会社日立メディコ 代表執行役　執行役社長
6	1/7	経営者視点の実践的プロジェクトマネジメント ～多様なステークホルダーが関わるプロジェクト運営～	井上 保	元 富士通テレコムネットワークス株式会社 代表取締役社長
7	1/14	組織の成長に欠かせないベンチャー精神 ～大企業における組織の再活性化～	海野 忍	元 NTTコムウェア株式会社 代表取締役社長
8	1/21	経営資源の再編と経営ビジョンの策定 ～7社の経営統合による経営資源および事業の再編と新たな成長戦略の実現～	杉山 清	元 NECソリューションイノベータ株式会社 代表取締役社長
9	1/28	企業の再生に欠かせない企業文化の醸成と挑戦 ～グローバルな組織間横連携を実現する、技術者ネットワーク構築と次世代基幹人材育成支援～	勝本 徹	元 ソニーグループ株式会社 執行役副社長 兼 CTO ソニーユニバーシティー学長
10	2/13 （土）	大型・複合・国際化するプロジェクトにおいて プロジェクトリーダーに要求される資質 ～海外プロジェクトにおけるプロジェクトの問題点、課題～	野呂 一幸	元 大成建設株式会社 常務役員　設計本部長

※木曜　19時～21時20分（休憩兼討議20分含む）　対面＠田町キャンパスとオンライン＠Zoomで開催　所属等は2026年7月時点です

学習形態とコーディネーターご挨拶

学習形態/時間の目安	前半（60分）	中盤（20分+休憩20分）	発表とまとめ（30～40分）
講義・事例提供 ディスカッション	講師より実践例の紹介と討議課題が提示されます。	討議課題にもとづき、グループ討議（対面またはブレイクアウトルーム）をします。	討議結果の解説およびQ＆A、意見交換などを行います。
（事前・事後）	学習者は、自らの知識レベルや週末等の自由時間に合わせて推奨書籍の読書、事前課題（資料）の読書、グループ学習支援システムを通じた意見交換等によって学習します。また、提示された事後課題を検討します。		

※講義・事例と討議テーマの提示（30分）→グループ討議と発表（30分）→討議テーマの提示（15分）→グループ討議と発表（30分）→まとめ（15分）、など講師により異なります

<u>コーディネーターご挨拶</u>

対面形式（田町キャンパス）とオンライン形式（Zoom）の併用により、対面参加の方はより対話をしやすく、オンラインの方は、遠方や業務都合がある方が参加のしやすい学習環境をご用意します。本プログラムは、「経営経験者との対話で学ぶ技術経営セミナー」として、講師からの話を一方的に聞くのではなく、対話を重視した学習形態です。具体的には、日本を代表する企業や組織で活躍された経営経験者から実践例に基づく「事例提供」と「問題提起」をしていただき、受講生の皆さんと討議をします。受講生の皆さんが主体となり「経営者やリーダに求められる資質」「経営者視点の考え方」などを学び、時には受講生からの問題提起や新たな論点の提示、受講者が所属する組織やプロジェクトの課題解決に向けた議論など、実務やキャリア形成に役立つ学びの成果を生み出すこともあります。昨年度に続くオンライン配信による実施は実績とともに参加のしやすさなど好評を得ています。全国からの参加も可能になり、地域性を超えたこれまで以上の多様性のある受講生同士の議論につながることも期待しています。

プログラムコーディネーター / ファシリテーター　環境・社会理工学院 特任教授　古俣　升雄

説明会（インターネットで動画配信）

CUMOT × STAMP連携プログラム（2026年度）の説明会の動画をwebで配信しております。配信の案内を希望の方は、下記のwebサイトにアクセスまたはメール（cumot-info@isc.ens.isct.ac.jp　宛）で件名を、「CUMOT × STAMP連携プログラム説明会視聴希望」、内容に氏名および所属先（任意）を記載してお送りください。動画の視聴に必要な情報と説明会資料（PDF）をお送りします。

https://www.cumot.isc.ens.titech.ac.jp/stamp/index.html

実施体制

主　　催：東京科学大学社会人アカデミー
事業主体：環境・社会理工学院（技術経営専門職学位課程）　実施協力：技術経営士の会（任意団体）
修了認定：修了者には社会人アカデミー長名の「修了証書」を交付いたします。評価については、出席状況を含め、コースごとに行います。

※本プログラムは予定中のもので、一部、変更になる場合がございます。（2026月10月7日現在）